



4月23日は 本と花を贈り合う サン・ジョルディの日

サン・ジョルディフェスティバル名古屋2015

4月19日(日) 10:00~17:00

名古屋テレビ塔1Fタワースクエア

主催/サン・ジョルディ名古屋実行委員会
(愛知県書店商業組合、日本・カタルーニャ友好親善協会)
中日新聞社
(入場無料)

本と花のイベント、盛りだくさん。

本屋さんが選んだ子供に読み聞かせたい絵本101冊 展示・販売

絵本作家「宮西 達也」読み聞かせ&サイン会

絵本作家「鈴木のりたけ」読み聞かせ&サイン会

易经研究家「竹村亜希子」トークショー&サイン会

「こじましほ」消しゴムハンコ教室(有料)

JRAC(JIPC読書アドバイザークラブ)ワークショップ(有料)

バラの販売(有料)

(詳しくは、HPで <http://www.aichi-books.jp/>)



サン・ジョルディの日 (日本・カタルーニャ友好観音協会HPより)

親しい人に気持ちをこめて、本や花を贈り合うカタルーニャ伝統の日です。男性から女性に赤いバラ(花)を、女性から男性に本を贈ります。親子や友人同士でもプレゼントします。カタルーニャでは、この日は花の市や本の市が街にたち、人々は本やバラを買い求めます。特にバルセロナのランブラス通りでは、子どもや大人が行き交い、大変な賑わいで、まさに年に一度のお祭りとなります。



サン・ジョルディ[Sant Jordi]は、聖人の名前。中世からカタルーニャ地方の守護聖人として、地域の人々に親しまれてきた騎士の名前です。

サン・ジョルディは、架空の人物とも実在の人物とも、議論の分かれるところですが、トルコのカッパドキアで4月23日に殉教したと言われています。

サン・ジョルディの伝説のひとつに、龍退治の話があります。ある国の王女が龍にとらえられ、いけにえにされることをサン・ジョルディが現れて龍を退治して王女を救いました。その時にサン・ジョルディの剣の刺しで龍の血が地面に流れ、そこに美しい赤いバラが咲いたという話です。

サン・ジョルディは、サン・ジョルジュ、セント・ジョージなどと発音を変えて、ヨーロッパ各地の守護聖人となっています。龍と戦う若き騎士、サン・ジョルディの話は、スペインのカトリック教徒がイスラム軍から国をとりもどす戦い、あるいは後になってカタルーニャの自治や言葉を禁止した独裁政治からカタルーニャの独立を求めて戦う精神と重なったためか、カタルーニャ地方では現在もサン・ジョルディ信仰は人々のアイデンティティーとなって深く根づいています。

花(特に赤いバラ)を贈るのは、サン・ジョルディ伝説の赤いバラが咲いた話によるもの。

カタルーニャでは、青い麦の穂をそえた一輪のバラが一般的です。

一方、本に関しては、サン・ジョルディの命日4月23日がスペインの文豪セルバンテスの命日と同じだったことから、本と花という組み合わせが始まりました。また、この日はシェイクスピアの命日にもあたります。

日本のサン・ジョルディの日のアイデンティティーとなって深く根づいています。

